

チャペル



特徴

- 酸味が少なく、甘みを強く感じることができる早生系オレンジミニトマト。糖度は9～10度で安定。
- カロテン含量が通常の品種と比較して2.5倍程度と高い。
- 果実は球～楕円形、平均果重は15gとなる。
- 着果数は一花房あたり20果前後となる。
- 高温期の栽培においても結実性が良く、成り疲れにくい。
- 果実の発色が均一で美しい。

栽培適期表

(近畿標準)

栽培型	月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ハウス半促成	●		×										
トンネル		●		×									
露地早熟				●		*							
露地抑制					●		*						

記号説明 ●:播種 ×:定植 —:栽培期間 ■:収穫期間

栽培方法

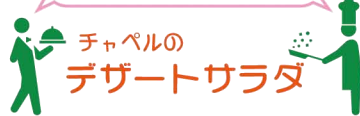
- 植え付けにあたっては日当たりの良い、水はけの良い圃場を選んでください。
- 総施肥量は通常品種に準じますが、栽培にあたっては生育が旺盛となりやすいため、草勢を見ながら追肥中心の肥培管理としてください。追肥開始時期は1段目肥大期からとします。
- 本品種は耐病性品種ではないため、やや疎植として通風を確保して病気の蔓延を防ぎます。また、本品種は葉長がやや長いタイプとなりますので、定植密度は1,800株～2,300株/10a(株間47～50cm、畝間180cm、2条、1本整枝の場合)とやや広めの植え付けを推奨します。
- 3段目の花房結実までは生育を抑え気味にするような管理を心掛けますが、その後の生育は極端な制限をせず、要求に応じた肥培管理を行ってください。
- 本品種は酸味が少なく食味の良い品種ですが、栽植密度や肥培管理によってはやや味が薄く感じられることがあります。過繁茂とならないよう、こまめな整枝を行い、採光を良くするよう管理します。

カロテン含量は
一般の赤ミニトマトの2.5倍以上!

※成分の数値は栽培条件により変動する可能性があり、栽培の結果を保証するものではありません。
※チャペルの分析結果は一般財団法人日本食品分析センター調べ。
※一般ミニトマトは五訂増補日本食品標準成分表に収載された成分値を記載。



一口クッキングメモ



口当たりの良さや香りはもはやフルーツ。野菜と果物の垣根を越えた一品。ぜひご賞味下さい。

